

令和6年度第2回市立伊丹病院地域医療支援委員会議事録

開催日	令和6年10月23日(水)	時間	13時45分 ～14時15分	場所	市立伊丹病院 講堂1
出席者	<p>委員：吉村委員長(伊丹市医師会会長)、中村副委員長(伊丹市歯科医師会会長)、明渡委員(宝塚市医師会会長)、代理 鈴木委員(尼崎市医師会副会長)、千葉委員(伊丹市薬剤師会会長)、福井委員(伊丹市消防局長)、阪上委員(川西市健康医療部長)、中田委員(伊丹市病院事業管理者)、筒井委員(市立伊丹病院病院長)、中村委員(市立伊丹病院地域医療連携室主任部長)、伊東委員(市立伊丹病院地域医療連携室部長)、土井委員(市立伊丹病院看護部長)</p> <p>委任状：木村委員(三田市医師会会長)、織田委員(川西市医師会会長)、須藤委員(兵庫県伊丹健康福祉事務所長)、松尾委員(伊丹市健康福祉部長)、藤本委員(宝塚市健康福祉部長)、喜多委員(三田市総合政策部地域医療推進担当部長)、細田委員(学識経験者)、藤本委員(市立伊丹病院事務局長)</p> <p>オブザーバー：濱口(副院長)、森田(副院長)、下山(診療部長)、鴻野(医療監)、萩原(放射線診断科主任部長)、太田(歯科口腔外科主任部長)、渡辺(医療技術室長)、上田(薬剤科長)、加藤(医事課長)</p>				
議題内容	<p>■ 開会のごあいさつ 地域医療支援病院として、本年度上半期の地域医療に関する状況をご説明いただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>■ 委員の紹介 席次順に委員を紹介し、出席者が委員の過半数を超えているので本会は成立することを報告した。</p> <p>■ 議事の紹介 ・会議録の記載事項について 1.開催の日時および場所 2.出席した委員、臨時委員、専門医委員および関係人の氏名 3.議題およびその内容 4.議題の要旨 5.議決事項 6.その他委員長が必要と認める事項 ・本委員会は「公開等および傍聴についての要綱」第2条ならびに第3条により公開であるが、傍聴希望者はなかった。 ・本委員会は議事録作成のため録音している。 ・討議の中での発言内容、発言者の氏名は記載しない。 ・「公開等および傍聴についての要綱」第18条により 会議録は市立伊丹病院ホームページにて公開する。</p> <p>■ 議事署名人の指名について(2名) ・吉村委員長より中村副委員長および福井委員が指名され、両名とも承諾された。</p> <p>■ 議事 1) 紹介患者に対する医療提供について 資料1-① ～ 1-⑤ に従って説明 資料1-① 地域医療支援病院紹介率・逆紹介率 ・令和6年度上半期地域医療支援病院紹介率は91.3% 逆紹介率は118.8%で承認要件を充たしている。 資料1-② 紹介患者紹介項目内訳 ・令和6年度上半期は診察依頼と検査依頼を含め10,478件で前年度と比較(令和6年度上半期数値を2倍)して1423件増加している。 資料1-③ 令和6年度上半期 科別紹介患者入院率</p>				

- ・総入院患者数の 38.9%が紹介を受けた患者で前年度と比較して約 3.1%減少している。
資料 1-④ 令和 6 年度上半期 患者住所地別紹介患者数
- ・地域医療連携室経由の紹介患者は伊丹市が 76.8%で前年度と比較して約 0.7%減少している。
資料 1-⑤ 令和 6 年度上半期 地域医療連携室利用割合
- ・地域医療連携室の利用割合は 88%で前年度と割合は変わらず。

2) 救急医療の提供について

資料 2-①、資料 2-②に従って説明

資料 2-① 救急外来患者数調書

- ・令和 6 年度上半期救急患者数は、4,218 件で前年度と比較(令和 6 年度上半期数値を 2 倍)して 1,075 件増加している。入院化率は前年度より 0.3%増加している。

資料 2-② 救急搬送の応需困難状況

- ・令和 6 年度上半期お断り率は 19.0%で前年度と比較(令和 6 年度上半期数値を 2 倍)して 10.9%減少している。

3) 地域の医療従事者に対する研修について

資料 3 に従って説明

- ・令和 6 年度上半期 地域医療従事者対象研修会開催一覧

研修会はウェブ研修を含めて 12 件開催し、院外より 310 名の参加があった。承認要件の 12 回を上半期で満たすことができた。

4) 開放病床の運用実績について

資料 4 に従って説明

- ・開放病床の平均利用率は 4.0%で問題なく運用できている。

5) その他

- ・特になし

質疑応答

資料 1-② 紹介患者紹介項目内訳

質問:紹介項目骨塩定量が前年度と比較し減少している理由は何かあるのでしょうか?

回答:乳癌患者のフォローアップの検査項目として骨塩定量が入っていたが、ガイドラインから除外されたため、受検件数が減少したと思われます。

資料 2-② 救急搬送の応需困難状況

質問:応需困難件数が大幅に改善されていますが、「満床」の理由が増加しているのは、稼働率が増えているためでしょうか?

回答:「満床」理由の増加については、依頼のあった症例に対して的確な部屋が準備できなかったという状況。「手術中」や「処置中」の件数減少については、初療室や配列の改善、診療看護師等の配置により、効率を良くしたことが、お断り件数の減少に繋がったと考えられます。

質問:コロナウィルスの影響はありましたでしょうか?

回答:コロナ患者の受入に関しては、病床が満床近くなれば、市内の患者を優先するなど状況を見て判断し調整している。

資料 4 開放病床の運用実績について

質問:主な利用の診療科はどこですか?

回答:眼科の白内障手術による利用が主です。

■ 閉会のごあいさつ

本日はお忙しい中、市立伊丹病院 地域医療支援委員会にご出席賜り、誠にありがとうございました。

さて、本年度前半の医療提供状況を振り返りますと、先ほどご報告させていただきました通り、初診患者数は年換算で昨年度と比べ約 8%の増加が見込まれております。また、皆様の多大なるご協力のおかげで、紹介患者数も約 7.3%の増加が見込まれております。内訳としましては、診察のご紹介が約 5.2%増加し、検査のご紹介は CT

やMRIを中心に約12.7%の伸びを示しております。

さらに、救急診療におきましては、昨年11月に救急外来の拡充工事を実施し、本年度から診療看護師2名、救急救命士3名を新たに採用するなど、統合新病院に向け救急診療体制を強化しました。その結果、救急患者数は年間換算で1075件(14.6%)増加し、救急搬送患者数も1089件(27.6%)増加する見込みです。また、救急搬送の応需困難状況も大幅に改善され、お断り率は昨年比で10.9%低下し、最近では救急搬送応需率が85%前後で安定しております。

教育面では、来年度の初期臨床研修医の募集について、医科の募集枠10名に対し78名の応募をいただきました。当院を第一希望としていただいた方は18名で、昨年を上回る状況となっており、明日にはマッチング結果が発表される予定です。また、歯科臨床研修におきましても、昨日1名のマッチングが決定しました。臨床研修2年目の地域医療研修では、登録医の先生方に大変お世話になっております。この場を借りて、厚く御礼申し上げますと共に、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

統合新病院に向けた工事は当初予定より若干遅れておりますが、着実に進行しております。特に、西棟は統合新病院の診療の中心となる建物であり、今後、その建設が本格的に進んでいくこととなります。工事に伴いご不便をおかけすることもあるかと存じますが、引き続き、市立伊丹病院へのご支援をよろしくお願い申し上げます。

以上をもちまして、閉会のご挨拶とさせていただきます。

■ 謝辞

お忙しい中、委員の皆さまには令和6年度第2回市立伊丹病院地域医療支援委員会にご参加いただきありがとうございました。滞りなくここに本委員会を終了できましたことに、先ずはお礼申し上げます。

2回の落札不調によって1年遅れの統合新病院は、2026年8月の竣工に向かって、昨年5月中頃から工事を開始しました。現在は第一段階の、東棟、職員宿舎・保育所棟、立体駐車場が出来上がっており、医局が6月末に職員宿舎・保育所棟に、外来診察部門は8月13日に東棟に移転して、平日の外来診療を休むことなく今後の2年間の仮運用を開始しました。

また、病床数602床の本館西棟の建設も約2カ月遅れですが、本年8月5日に建設工事を開始しております。後の健康センター用の東棟での外来ですが、スペースが狭いことから外来診療にご不自由をおかけしますが、ご理解をお願いしたいと存じます。

近畿中央病院の跡地につきましては、地域住民のお役に立てる病院であると共に、当院としましては回復期の患者を引き受けて頂けるような病院であれば、お互い協力関係として助けあえるのではないかと考えております。また、できるだけ早期に開院していただけるようご協力をお願いしたいと考えております。

この件に関しまして、阪神圏域の医療機関に対して「近畿中央病院の跡地活用検討に関するアンケート調査」を施行しましたが、幸いなことに11病院(母体から考え実質8病院)から、「大変興味・関心がある」または「興味・関心がある」との回答をいただいております。この結果を11月に開催予定の「令和6年度統合委員会」に諮問して、その後には関係者の皆様にご検討いただき、最適なものになるよう努力させていただく所存です。勿論、近畿中央病院に決定権はございますが、皆さまのご協力もよろしくお願い申し上げます。

本日は、地域医療支援委員会にご出席いただき、ご審議をいただきましたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

別紙のとおり「令和6年度第2回市立伊丹病院地域医療支援委員会議事録」として作成する。

作成者 令和6年11月20日

吉村史郎 印

別紙のとおり「令和6年度第2回市立伊丹病院地域医療支援委員会議事録」として確認する。

議事録署名人 令和6年11月21日

中村義登 印

議事録署名人 令和6年12月2日

福井若次 印